

島根県立農林大学校 令和2年度卒業式

令和3年3月17日（水）に本校の令和2年度卒業式を挙行了しました。

式は、新型コロナウイルス対策から来賓は鈴木大造農林水産部長のみ、保護者および在校生は参加しない形で行い、農林業について専門に学んだ、農業科34名・林業科11名の卒業生に卒業証書が授与されました。



山内寛之校長は卒業生に対し、「コロナ渦においても、本校が掲げる実践教育の言葉を体現するがごとく、今自分たちがやるべきことに最善を尽くすといった姿で、暑い日も寒い日も関係なく、現場実習や農場当番に取り組んでくれました。皆さんが農林大学校で学んだこと、身体で覚えたこと、新しいものを取り入れて行く姿勢は、必ず通用します。自信をもって、一步一步、歩み続けてください」とはなむけの言葉を贈りました。

また、卒業生の代表が卒業後の決意を述べました。

「今日この日まで、有意義な生活を送ってこられたのは、ご指導くださった先生方や先輩方をはじめ、本日は出席が叶いませんでしたが、どんな時も私たちに寄り添い、応援してくれた家族のおかげです。ここまで本当にありがとうございました。そして何よりも二年間どの活動にも欠かせなかったのは、共にこの日を迎えることのできた仲間たちです。一緒に学び、成長してきた仲間がいたからこそ、かけがいのない学校生活を送ることができました。卒業後は、多くの課題に対して、次代の農林業をリードしていけるよう、農林大学校で得た知識や技術を支えにして、これからも精一杯努力していきたいと考えています。」



卒業生の皆様のご健勝
とご活躍を職員一同お
祈りします。

卒業おめでとう
ございます。